

内部監査

1. 2024年度の取り組み

当社および主要グループ会社である三井住友信託銀行では、テーマ監査・オフサイトモニタリングへの取り組みを充実させることで、組織体に付加価値を提供する常時

モニタリング態勢へシフトしました。また、生成AIを活用したインタビュー分析や、監査でのデータ活用推進など、テクノロジー活用に積極的に取り組みました。

2. 基本的な考え方

当グループでは、経営目標の達成、法令遵守、顧客保護、リスク管理のため、効率のかつ実効性のある内部監査態勢を整備することが重要と考えています。経営の健全性を確保するため、独立した内部監査部門を設置し、

業務執行態勢や内部管理態勢の適切性・有効性を検証し、問題点の是正や改善状況のフォローアップを行っています。

3. 内部監査の体制

①三井住友トラストグループ

当社では、業務執行に係る部署から独立した内部監査部を取締役会の下に設置し、監査委員会との直接の報告・指示関係におくことで、ガバナンスを強化しています。

内部監査部は、グループとしての内部監査基本方針や重要リスク項目を踏まえた内部監査計画を策定し、監査委員会と協議を行い、同意を得た上で取締役会の承認を受けています。内部監査結果は、適時適切に監査委

員会・取締役会に加え、執行役社長へ報告しています。

また、内部監査部はグループ各社が策定する内部監査計画について各社より協議を受け、内部監査基本方針に沿って策定されていることを確認しています。グループ各社の内部監査部門と連携して内部監査を実施するとともに、各社から内部監査結果の報告を受け、グループ各社の内部監査態勢および監査実施状況を把握し、指導監督しています。

②グループ各社

三井住友信託銀行などの主要グループ会社においても、業務執行に係る部署から独立した内部監査部門を設置し、内部監査を実施しています。各社の内部監査計画は、

内部監査基本方針に沿って策定され、当社との協議を経て取締役会の承認を受けています。内部監査の結果は、各社の取締役会・社長のほか、当社に報告されます。

■ 三井住友トラストグループの内部監査体制

